

地域産業の振興

地域ブランドの育成・定着やマーケティング戦略、中小企業支援、人材育成等に関する講義、演習等により、地域産業の振興についての専門的な知識の習得と実務遂行能力の向上を目指します。

本研修は、「地域産業の振興」のプロセス(現状分析⇒目的・目標の設定⇒支援・改善・人材育成・広報などの展開⇒持続可能な発展)に沿って、必要な知識や視点を学べるよう、カリキュラムを構成しています。

また、地域産業振興を多角的に捉えていただくため、さまざまな観点からの講義や事例紹介を組み合わせ、受講者が地域の実情に応じた柔軟な支援策を構想できるようなカリキュラムとしています。

日程	令和7年12月1日(月)～12月5日(金) (5日間)
場所	市町村職員中央研修所(市町村アカデミー)千葉市美浜区浜田1丁目1番地
対象	市区町村職員 <u>中堅職員以上</u>
定員	40名
経費	8,800円(食費を除きます。また、教材用図書費が別に必要となる場合があります。)
申込期限	令和7年9月2日(火)
申込方法	市町村アカデミーのホームページ右側に表示される「申込みはこちら」をクリックして開いた「WEBポータル」から、お申込みください。 市町村アカデミーWEBポータル ・「WEBポータル」のご利用に当たっては、アカウントの作成が必要となります。
申込み 問合せ先	 市町村職員中央研修所研修部 (TEL) 043-276-3126 (URL) https://www.jamp.gr.jp

※記載内容は、都合により変更となることがありますので、あらかじめ御了承ください。
※研修開始の約1週間前に「WEBポータル」を通じて「時間割」を掲示しますので、最新情報をご確認ください。

研修の
ペーパーレス化

・研修受講に当たっては、講義資料等の指定された電子データを「WEBポータル」から、予めノートPC等の端末にダウンロードした上で持参してください。
・端末の持参が難しい場合は、講義資料等を紙に印刷して持参してください。

Time Schedule

12月1日/月

13:15 - 14:45
入所

15:00 -
開講式・オリエンテーション

16:30 -
課題演習

討議

地域産業・地域経済に係る課題・問題点を解決するための施策・取組について班別討議を行い、その成果を発表するとともに、講師からの講評を行うことにより、政策立案能力やコミュニケーション能力の向上を図ります。

9:00 - 12:00 講義
地域産業の振興と自治体の役割

実践女子大学人間社会学部教授
吉田 雅彦 氏

人口減少や産業構造の変化が進む中、地域経済の活力をいかに維持・発展させていくかは、すべての自治体にとって喫緊の課題です。本講義では、地域産業の現状と直面する課題を整理し、地域経済における産業振興の意義や、自治体が果たすべき役割について総合的に学びます。

13:00 - 14:10 講義
事例紹介

株式会社ことろど 代表取締役
田鹿 倫基 氏

地域ブランドの確立、民間企業との連携、積極的な企業誘致、そして地域資源を活かしたまちづくり。本講義では、宮崎県日南市でこれらの取り組みを推進し、数々の注目を集めた田鹿倫基氏をお招きし、自治体職員の立場からどのように地域の産業振興に取り組んできたのか、リアルな事例を交えてご紹介いただきます。地域課題に直面しながらも、マーケティング視点を取り入れ、行政内外の連携を生み出したその実践は、地域産業振興に携わる多くの自治体職員にとって貴重なヒントとなるはずです。

14:25 - 15:35 講義
事例紹介

盛岡市商工労働部
ものづくり推進課工業振興係長
金澤 健介 氏

岩手県では全国に先駆けて昭和62年頃から産学官の間で活発に交流が行われてきた背景があり、中でも盛岡市は、大学構内にインキュベーション施設を設置するとともに職員を派遣するなど、産学官連携による産業振興に積極的に取り組んでいます。今回はITやヘルステック産業の振興を中心とした企業・起業支援の実践事例をもとに、地域産業の活性化をいかに進めるかを具体的にご紹介いただきます。各地で模索が続く「地域産業の未来」を考える上で、実務に活かせるアイデア、地域資源を活かした戦略構築等を学べる貴重な機会です。

15:50 - 17:00 講義
デジタル化・DX支援の取組

公益財団法人
えひめ東予産業創造センター事務局長
矢葺 広和 氏

デジタル技術を活用した業務の効率化や販路拡大、慢性的な人手不足への対応など、地域企業が抱える課題は多様化・複雑化しています。こうした中、自治体がどのように地域企業のデジタル化・DX推進を支援していくかが、これからの地域産業政策の重要な鍵となります。本講義では、「新居浜市DX推進ラボ」などを通じてデジタル化支援の現場を牽引してきた矢葺氏をお招きし、具体的な取組事例や市町村との連携のあり方についてお話しいただきます。支援の現場で得られた知見や、成功のポイント、課題など、実務に活かせるヒントが得られる貴重な機会です。

17:00 - 17:45 討議 課題演習

研修のご案内は「JAMP Newsletter」でも配信しています。

<https://www.jamp.gr.jp/issue/mailmagagin/>



JAMP Newsletter

検索

9:00 - 10:35 **講義****メディアから見た継業の現状と課題**

TURNSプロデューサー
株式会社第一プログレス代表取締役社長
堀口 正裕 氏

後継者が確保できず黒字でも倒産する地域産業が増加することは、地域力の減退を招き、自治体の基礎体力を奪っていきます。雑誌TURNSをプロデュースする講師から全国の継業に関する事例を紹介いただくとともに、継業に関して行政に必要と思われる視点などについて講義いただきます。

10:50 - 12:00 **討議****行政×マーケティング＝イノベーション？**

日本郵便株式会社地域共創事業部部長 兼
日本郵政株式会社地域共創事業部付部長
第一期地方創生支援官
前カジノ管理委員会事務局財務監督課長
元国土交通省半島振興室長
元愛媛県西条市副市長
出口 岳人 氏

自治体職員にマーケティングなんか関係ないと思いませんか。少子高齢化、人口減少時代に、地域活力の源泉である地域の稼ぐ力を高めていくにはどうしたらよいのでしょうか。特産品開発、観光、移住、ふるさと納税等、選ばれる自治体には、マーケティング志向が不可欠です。地方創生に不可欠なマーケティングについて、一緒に考えてみましょう！

13:00 - 15:35 **講義****地域における連携・協働による産業振興**

studio-L代表
関西学院大学建築学部教授
コミュニティデザイナー
社会福祉士
山崎 亮 氏

地域の課題を解決するには、施策だけでなく「人と人とのつながり」が鍵になります。本講義では、地域住民・企業・行政など多様な主体が連携・協働しながら、地域資源を見直し、産業の自立的・持続的な発展へと導く手法を学びます。地域に眠る力をどう引き出すか、住民の主体性をどう高めるか、そして、自治体がどう関わるべきか？「コミュニティデザイン」を第一線で実践され、全国のまちづくりに携わってこられた山崎亮氏による講義を通じて、「内発的発展」への道筋を、自らの地域に引きつけて考える貴重な機会としていただきます。

15:50 - 17:45 **討議****課題演習****実地研修 千葉県香取市佐原**

当研修所が用意するバスにて佐原を訪問し、現場での取組を実地でご覧いただきます。

9:00 - 15:35 **講義****金融機関と行政が連携した地域産業振興・NIPPONIA SAWARAから学ぶ地域マーケティング**

千葉経済大学非常勤講師
総務省地域力創造アドバイザー
香取市地域力創造アドバイザー
根津 久一郎 氏

地域産業の振興に取り組む上で、地域金融機関の協力、連携は不可欠です。本課目では、千葉県香取市佐原を訪問し、現在、香取市地域力創造アドバイザーを務める前職銀行員の根津久一郎氏から、行政と金融機関が連携するポイントをご講義いただくとともに、地域力創造アドバイザーの活用方法についてもアドバイザーの立場から説明いただきます。

15:50 - 17:45 **討議****課題演習**9:00 - 12:00 **発表・講評****課題演習**

実践女子大学人間社会学部教授
吉田 雅彦 氏

課題演習で実施した班別討議の内容を各班ごとに発表し、その内容について講師から講評をいただきます。今回の研修での講義や現地視察、班別討議、発表、そして講評を通じて、受講者自身が今回の「地域産業の振興」に加え、自治体政策全体の企画力、実行力の向上に繋がることを目的としています。

12:10 -
修了式